

事業報告会2014

～カタリバの1年と、これから～



スタッフ がギモン に答えます！

- ◆「カタリ場」ってどんな授業？
→ボランティアの学生がお答えします
- ◆東北の子どもたちの現状はどうなっているの？
→コラボ・スクールの職員がお答えします
- ◆総務って何をしているの？
→経営管理本部の職員がお答えします

日程：10月25日(土)13:00～

場所：東京セミナー学院@池袋駅西口徒歩5分

参加費：1,000円(会場代、資料代)

懇親会：報告会終了後、1時間程度/参加費2,000円

- ◆第1部：カタリバとは？ —2013年9月～2014年8月の活動報告—
- ◆第2部：活動の現場を知る —スタッフとの座談会—
- ◆第3部：カタリバインタビュー —支援者の声、子どもの声—

▼お申し込みはコチラ

<http://www.katariba.or.jp/news/2014/09/02/3452/>



カタリバ 事業報告会2014





生まれ育った環境や、偶発的な出会いなど、機会の差に関わらず
あらゆる子ども・若者が、思い描いた未来を切り開いていけるように。

高校生の心に、“火を灯す”授業



「自分が参加しても社会は変わらない」68.3%
「私は価値のある人間だとは思わない」62.7%

明日を担う高校生の現状は、このような“自己肯定感”の低さによって特徴づけられます。ニートやフリーター、引きこもり、格差の拡大、機会の不均等…若者の「仕事」や「教育」を巡る問題を解決する手段として考えたのが、高校でのキャリア教育の機会を創ること。

高校生の進路意欲を高める授業である「カタリバ」は、主に大学生や社会人などのボランティア・スタッフで構成されています。「カタリバ」を通して、これまでに約800校、17万人の高校生に、将来について考えるきっかけを届けてきました。

被災地の“放課後学校”
コラボ・スクール



「震災があったから、夢をあきらめた」

子どもたちに、この様な想いを抱いてほしくない…
そんな願いから始まった被災地の放課後学校、コラボ・スクール。

狭い仮設住宅の隅で机に向かう子どもたち、家族が見ているテレビの音で勉強に集中できない子どもたちに放課後学校で、学習指導と心のケアを行っています。

女川向学館と大槌臨学舎の2校の設立後には、子どもたちの勉強時間が震災後から2.7倍に増加しました。また、震災で傷ついたり、家庭事情や友人関係のトラブルを抱えた子どもたちにとっての「居場所」としての機能も果たしました。

生き抜く力を、子ども・若者へ

NPOカタリバ

認定特定非営利活動法人 カタリバ

東京都杉並区高円寺南3-66-3 高円寺コモンズ2F
Tel: 03-5327-5667 Mail: pr-fr@katariba.net

<http://www.katariba.or.jp/>

NPO カタリバ

@katariba